あなたは、のです。おにのをるよう、からがありました。

からのはのとおりです。

このたび、おにのをることになったので、をしてください。

はされたよりして、のですること。

するは、word3q\_moto-11.docxです。

にってをし、ののに「18.docx」としてしてください。

1. は１8とする。
2. は「　」とし、2にけてれなさい。
3. はとする。
4. は、「のご」とする。
5. にをつけなさい。
6. のからなのをび、なにしなさい。

《》

　　の　　の　　の

1. なに、「はのごをくしげます。」というをすること。
2. 「ますますごのことと…」のをにしなさい。
3. 「このたび、の…」のに、としてなものをのからすること。

　　とりいそぎ、　なお、　さて、

1. 「としての「」をきし、でするについて」を「でもの　をおきし、これからのについて」にしなさい。
2. にうをのからび、なにしなさい。

　　　　　　　　かしこ

1. 「おりわせのうえ」というをなにしなさい。
2. 「23（）」を「29（）」にしなさい。
3. のはのとおりである。

|  |
| --- |
| 　1810（）14:00～16:00　　6　はなるか?　～からみる～ |

1. 「◆」をにしなさい。
2. のをのような「」にし、もすべてーしてしなさい。なおのきさは、おおよそ50、94にすること。

古田亮介　経済学者

1985年　東都大学経済学部卒業

1986年　大手都市銀行を経て経済研究所所長

東都大学経済学部助教授を経て、同大学教授

著書に「株価が語る経済」

1. A41にできるようすること。